

学校だより

伝統「谷汲踊」を受け継ぐ

谷汲小学校

約800年前、源平合戦「壇ノ浦の戦い」の勝利を祝った武者踊りから始まったと伝えられる「谷汲踊」は、昭和27年、谷汲踊保存会の発足により、現在の形として復活し、県の重要無形文化財に指定されました。

本校では、15年ほど前から「谷汲踊」を学んできました。今は、6年生の総合的な学習の時間の中で、「地域の歴史学習」「谷汲踊の伝承」をテーマに、谷汲の歴史について課題を設定して調査活動をしたり、谷汲踊の由来を学んだり、踊り方を覚えたりしています。そして、練習の成果を「運動会」や「谷汲もみじまつり」の場で披露しています。



児童は、地域の保存会の方たちのご指導を受けて、練習に励みます。子ども用の「シナイ」と「太鼓」を合わせると、その重さは10kgほどになります。時には、鳳凰の羽をかたどった「シナイ」を思うように扱えなかったり、太鼓や鉦の音が合わなかったり、暑さに負けて弱音を吐きそうになったりしな

がらも、保存会で活躍されている山岸武敏さんの丁寧で熱意あふれる指導によって、汗を流しながら真剣に練習します。伝統の重さを体で感じる瞬間です。

このようにして、歴史ある「伝統芸能」を地域の若者が伝えていく活動は、伝統を守ろうとする心や、自己を表現する楽しさ、豊かで貴重な伝統をもつ郷土を大切にすることが味わうことにつながる、非常に価値ある学習です。



本校は、平成19年度から長瀬小学校との統合により、新しい地で新しい谷汲小学校として生まれ変わります。しかし、これまで培ってきた郷土を愛し誇りに思う気持ちは、いつまでも児童の心に残ることと確信しています。

学校・家庭・地域社会との

連携を図った豊かな心の教育

養基小学校

本校では、児童に豊かな人間性や社会性を育てるために、道徳の授業の工夫改善と体験活動の充実に取り組んでいます。特に、地域の方をゲストティーチャーとして参加していただく授業づくりやボランティア活動に力を入れています。

一・ゲストティーチャーを招いた道徳の授業

4年生では、毎日交通指導員としてお世話いただいている地域の方にゲストティーチャーとして授業に参加していただきました。

『すもうの先生』という資料に基づいて、毎日の生活が多くの人々に支えられていることに気づき、尊敬し感謝しようとする態度を育てることをねらいとしたものでした。授業の終末で登場した理由や願いについてお話を聞きました。お話を聞いた後の児童のノートには、「毎日お世話になる人がいます。安全な登校のために来てくれます。花をくださり、楽しいお話をしてください。いつも私たちのことを見てくださって本当に感謝しています。」と書かれていました。改めて、ゲストティーチャーから直接お話を聞くことが、授業に深みや厚みを増し、よりよい生き方にあることが、豊かな人間性を育むことができると思います。



二・校内ボランティア活動

(ちよボラタイム)

毎月1回水曜日の昼休み、美化・JRC委員会の呼びかけで15分というちよっと短い時間ですが、ボランティアの時間を設けています。児童は「ちよ

ボラタイム」とネーミングしています。回を重ねるごとに参加者が増えていきます。委員会が企画した校庭の草取りや廊下磨きの活動などに進んで参加し、自分たちで学校をきれいにできた喜びを実感しています。



三・地域ぐるみのボランティア活動

(リサイクル資源回収活動)

PTAでは、年間2回、校区に呼びかけて、リサイクル資源を回収する活動を行っています。5・6年の児童も運動場に集合し、保護者や地域の方々と共に活動し、新聞紙やチラシを袋詰めする作業を手伝います。大変な作業ですが、作業を通して、地域のために働く自分を自覚したり、責任をもってやりきった後の充実感を体感したりして、働くことの意義を感じる場になっています。

本校では、毎年10月に学校・家庭・地域の三者連携推進会議を開いています。本年度も、道徳の授業の参観や親子活動、懇談の場を設け、当日や日頃の児童の交流を行います。『心豊かなやぎっ子』を目指し、三者連携による次年度の活動の方向付けをする場として大切にしたいと考えています。